年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　芸術　　科目　書道Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A　組～　F　組

教科担当者：（A～F 組：宇田　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 光村図書「書道Ⅰ」　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「漢字の変遷と様々な書体」 「唐時代の楷書を学ぶ」 古典『孔子廟堂碑』、『九成宮醴泉銘』、『雁塔聖教序』、『顔氏家廟碑』、『造像記』 【知識及び技能】 楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの時代背景や書風、碑文の内容を理解し、楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】	・経緯や書風、碑文の内容と大意、筆者の人物像や唐の太宗との関係を理解する。 ・学習のねらいを理解し、点画の長さ、向勢の構えなどのポイントを中心に確認する。 ・それぞれの点画、運筆などの技能を習得し、用筆や字形を意識して臨書する。 ・書道道具、教科書		○		○	・経緯や書風、碑文の内容と大意、虞世南の人物像や唐の太宗との関係を理解出来ている。 ・学習のねらいを理解し、点画の長さ、向勢の構えなどのポイントを中心に確認出来ている。 ・それぞれの点画、運筆などの技能を習得し、用筆や字形を意識して臨書が出来ている。	○	○	○	15
	「楷書体で好きな言葉を書いて絵皿制作しよう」 【知識及び技能】 楷書の書風と用筆・運筆との関わりについて理解し、学習してきた技能を生かす。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	楷書の書風の違いを理解でき、絵皿で表現ができる。 ・書道道具 ・教科書 ・端末・絵皿		○		○	楷書の違いを理解でき、絵皿を用いて自己表現が出来ている。	○	○	○	9
2学期	行書『蘭亭序』、『争坐位文稿』草書『真草千字文』隷書『曹全碑』篆書『泰山刻石』の臨書をしよう。 【知識及び技能】 それぞれの古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの時代背景や書風、碑文の内容を理解し、楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊	・それぞれの書体の経緯や書風、碑文の内容と大意、学習のねらいを理解し、点画の長さ、向勢の構えなどのポイントを中心に確認する。 ・それぞれの点画、運筆などの技能を習得し、用筆や字形を意識して臨書する。 ・書道道具、教科書		○	○	○	・用具・用材の特徴を理解し、適切に扱うことが出来ている。 ・古典に基づく基本的な点画や線質の表し方を理解し、その用筆・運筆の技法を習得することが出来ている。 ・字形の構成を理解し、全体の構成を工夫することが出来ている。 ・意図に基づく表現を構想し、工夫することが出来ている。	○	○	○	28
3学期	仮名の書「平仮名、変体仮名」『蓬莱切』 漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 時代背景や平仮名、変体仮名の字源、基本的な用筆を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・用具・用材の特徴を理解し、適切に扱うこと。 ・古典に基づく基本的な線質の表し方を理解し、その用筆・運筆の技法を習得すること。 ・単体，連綿の技法を習得し、全体の構成を工夫すること。意図に基づく表現を構想し、工夫すること。 ・書道道具、教科書	○		○	○	・用具・用材の特徴を理解し、適切に扱うことが出来るている。 ・古典に基づく基本的な線質の表し方を理解し、その用筆・運筆の技法を習得することが出来ている。 ・単体，連綿の技法を習得し、全体の構成を工夫と意図に基づく表現を構想し、工夫することが出来ている。	○	○	○	18 合計 70